

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和4年度 第1回高松市文化芸術振興審議会
開催日時	令和4年7月14日(木) 19時00分～20時00分
開催場所	高松市防災合同庁舎 3階 301会議室
議 題	(1) 高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について (2) その他、今後のスケジュールなど
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
出席委員	青山委員、鹿庭委員(リモート)、金川委員、島田委員(副会長)、多田委員、橋本委員(会長)、林委員、三木委員、若井委員 計9人 (欠席6人 甘利委員、鎌田委員、北岡委員、木ノ下委員、田中委員、水嶋委員)
傍 聴 者	1人 (傍聴席4人程度を確保)
担当課及び連絡先	高松市文化芸術振興課 087-839-2636

審議経過及び審議結果
<p>会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。 審議会の公開・非公開について審議がなされ、公開の決議がなされた。</p> <p>(1) 高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について 令和元年5月に策定にされた「第2期高松市文化芸術振興計画」に掲げる事業の取組状況について事務局から説明し、次のとおり意見があった。</p> <p><屋島山上交流拠点施設整備事業について> (委員) ・施設の運営に当たっては、指定管理者に全て任せるのではなく、市もサポートをして欲しい。 (事務局) ・多くの来訪者の交流の場となるよう、サポートを含め指定管理者と連携していきたい。</p> <p><高松市文化奨励賞・文化奨励賞受賞者記念披露事業(仮称)について> (委員) ・文化奨励賞受賞者記念披露事業(仮称)の対象は、どのような方か。 (事務局) ・令和4年度に文化奨励賞新人部門を受賞された方を対象に、瓦町フラッグのアーティストステーションで実施したいと考えている。</p>

(委員)

- ・瓦町フラッグアートステーション以外の施設で事業実施は考えているのか。

(事務局)

- ・予算措置が前提となるが、サンポートホール高松や高松国分寺ホール等、受賞者の分野にあった施設での実施も検討したい。

(委員)

- ・過去に受賞した方や新人部門を受賞した方に対しての発表の機会の創出を引き続き検討して欲しい。

<文化芸術振興事業について>

(委員)

- ・新型コロナウイルス感染症やサンポートホール高松の大規模改修など環境の変化がある中で、事業を実施できており、現場の評価も高いため、継続して取り組んで欲しい。

(事務局)

- ・引き続き取り組んでいく。

<人材育成関連事業について>

(委員)

- ・予算が少ないが、なぜこの予算規模となっているのか。

(事務局)

- ・学芸員等のマンパワーによるものになるため、この予算規模で実施できている。美術館に来て、実際に体験することで、予算の有無に関わらず得られることが多い事業であると考えている。

<市美術館エントランスホール等における作品展示について>

(委員)

- ・予算が少ないのではないか。

(事務局)

- ・美術館のエントランスホールの作品展示等は、企画展等に関連して展示しているものもあるため、この予算規模となっている。

<文化芸術の情報発信について>

(委員)

- ・移住してきた文化芸術従事者やアーティストに向けての情報提供や窓口になるような事業はあるのか。

(事務局)

- ・現在構築中の高松版文化芸術プラットフォームの中で、中間支援の機能を持つアーツカウンシルの仕組みを作っているところである。
情報発信に関しては、今からでも取り組めることなので、検討していきたい。

<伝統的ものづくり学校巡回教室について>

(委員)

- ・伝統的ものづくり学校巡回教室が予算見直しのため廃止となっているが、子どもたちに体験を届けることを引き続き考えてほしい。

(事務局)

- ・事業廃止となっているが、担当課において、引き続き、伝統的ものづくりの普及啓発を行うこととしている。

<芸術士派遣事業について>

(委員)

- ・この事業の課題として、効果の数値化が難しいとあるが、数値化する必要がないのではないか。

(事務局)。

- ・数値化することが困難な事業ではあるが、現場での満足度は非常に高いと聞いている。

<予算について>

(委員)

- ・令和4年度の予算は、昨年度と同程度と考えてよいか。

(事務局)

- ・市民の方の文化芸術活動の支援や、学校巡回芸術教室といった本市の文化事業推進に関する予算は、令和3年度と大きな変化はない。

以 上